

インボイス
「中小企業を蝕む」
全中連大会で保団連理事ら訴え

保団連も参加する全中連(全国中小業者団体連絡会)は2月7日、東京都内で決起大会を開き、インボイス廃止、消費税減税、保険証残せ、大軍拡をやめて被災地支援を」と訴えた。大会には全国から800人が参加し、保団連からは全中

連代表幹事の住江憲男名誉会長、馬場一郎理事、杉山正隆理事らが参加した。全中連加盟団体の決意表明として、馬場理事が登壇し、発言。馬場理事は「政府は12月2日に保険証を廃止すると決めたが、マイナ保険証のトラブルは総点検後も医療機

関で続発している。国民の8割が保険証の存続を求めており、政府の支持率も右肩下がりが。国民の声を聞け」と訴えた。またインボイス制度について「中小企業のやる気を削ぎ、命を蝕む政策だ」と批判。医療団体として住江名誉会長を団長として実施した厚労省要請では、診療報酬の抜本的引き上げ、物価高騰等に対応する財政措置、保険証の存続などを求めた。



連載 第4回

能登半島地震

村山嘉昭

ある避難所で食事を担当していた女性は、調理室に並べた椅子の上で寝ていた。不便であっても1人になれるからだと話していた(2024年1月、能登町にて撮影)

ある避難所では発災直後から数人の同じ女性たちが朝夕の食事を休む間もなく作り続けていた。交代する適任者がおらず、役割が固定化したことで、やむにやまれずに続けているという。

石川県によると2月末時点で県内には480を数える避難所が存在し、1万1千人を超える住民が自宅以外の場所で避難生活を送っている。公立学校の体育館や空き教室を利用した避難所と違い、公民館や集会場などの小規模避難所では住民自らが台所や調理室で利用人数分の食事を作り、自炊しているケースが少なくないのだ。これら小さな避難所に立ち寄るたび、区長などの管理責任者だけでなく食事の仕込みや片付け作業をしている女性たちからも話を聞くようにしている。玄関先では本当に困っていることがわからないからだ。

長期間に及ぶ避難生活では食事の質が心と身体の健康を左右する。レトルト食品や弁当などに食べ飽きて食が細くなる高齢者がいる中、普段から食べ親しんでいる食材で作られた温かい食事は住民にも好評だ。しかし避難所の中には一部の人に負担を負わせてしまっているところもあった。避難所での作業負担が大きく、被災した自宅の片付けができずにいると話す方もいた。女性たちの疲労はピークに達しているように見えた。不定期に訪れるボランティアによる炊き出し支援が、ある意味で彼女たちの休日でもあった。状況は発災から2カ月経っても変わっていない。

(むらやま・よしあき) 写真家。1971年、横浜市生まれ。徳島市在住。農業系出版社勤務を経て、2005年に独立。日本写真家協会会員。



発言する馬場理事

読者アンケートにご協力を

全国保険医新聞のご感想、ご意見等をお寄せください。頂いたご意見は今後の企画の参考にさせていただきます。なお、個別にお返事はしておりませんので、ご了承ください。投稿フォーム▶



医師・歯科医師の医療連携を促進するためのツール

「糖尿病・歯周病 医科歯科連携手帳」(保団連版)

▶ 歯科から医科へ

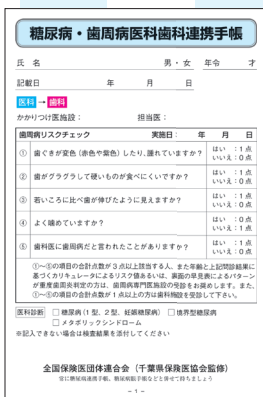
- ① 糖尿病をどの程度疑って医科に紹介するか
- ② 歯周病の病状を医科にどのように伝えるか

▶ 医科から歯科へ

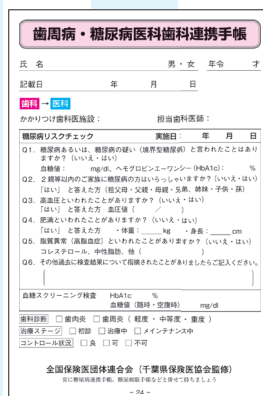
- ① 歯周病をどの程度疑って歯科に紹介するか
- ② 糖尿病の病状を歯科にどのように伝えるか

主なコンテンツ

- ・ 歯周病のリスクチェック表 …… (1ページ)
- ・ 糖尿病のリスクチェック表 …… (24ページ)
- ・ 糖尿病治療リスクとしての歯周病健康評価度 …… (10ページ)
- ・ 糖尿病の病状評価 …… (11ページ)
- ・ 口腔内の写真、歯周病と糖尿病の関係図 …… (4、5ページ)



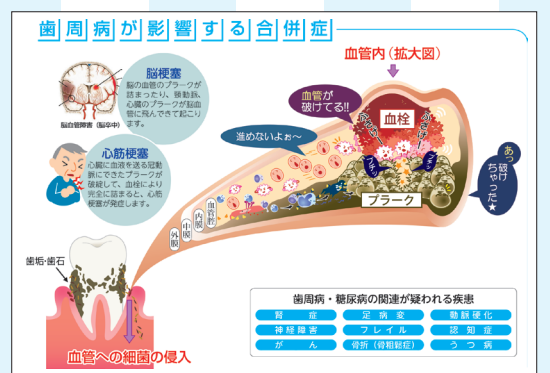
1ページ



24ページ

狙い

- 医科受診の際の歯周病リスクチェック、または歯科受診の際に糖尿病リスクチェックを行うことで、医科歯科双方で糖尿病および歯周病患者をスクリーニングし、治療を促す
- 医師・歯科医師・患者の三者がそれぞれ病状を把握できるようにする



6ページ

B6判変形・24ページ ご注文は各協会・医会または保団連へ